

ヒルズボロの現状

ヒルズボロは、人口240万人のポートランドメトロポリタン地区の製造技術ハブです。1950年以来、ヒルズボロ市はこの地域やアメリカ全土を超えるペースで様々な企業の進出と雇用を創出し、その人口は5,000人から10万人に増えました。今日、ヒルズボロはオレゴン州で5番目に大きな都市で、アメリカ北西部で最も健全な経済都市の一つです。

オレゴン州で最も大きく、経済が活発な企業はヒルズボロにあり、コミュニティに様々な産業の幹を提供しています。ハイテク産業、食品加工、流通、情報技術、および一般の製造企業がヒルズボロをポートランドメトロポリタン地区およびオレゴン州の経済の原動力とさせています。インフラ、優秀な人材、不動産、交通機関、そして手に届く価格が、ヒルズボロを理想的な場所にしています。

競争力のある、テクノロジー基盤の経済

ヒルズボロはシリコンフォレストの中心のインテル、東京エレクトロン、ダイニック、エプソン、日立ハイテクノロジーズ、荏原製作所、旭硝子、東海カーボンなど、オレゴン州にあるいくつかの大企業のうちの数社がある都市です。市のビジョンはヒルズボロをハイテク革新産業の世界クラスの拠点にすることです。

- ・ ヒルズボロはポートランド地区のコンピュータおよび半導体製造の2/3以上を占めます。
- ・ ヒルズボロは、都市部の約6%の雇用を担い、そのうちの20%を超える割合が製造業です。
- ・ 先進的なエレクトロニクス製造業はポートランド地区の3倍、全米の4倍設立されています。
- ・ これらの事業の内訳は、半導体、ソフトウェア、医療機器、およびクリーンテクノロジーです。
- ・ ヒルズボロは大きなビジネス成長を続け、その成長率はポートランドメトロポリタンエリアやオレゴン州、またアメリカ全土を上回っています。

5 Year Job Growth (2010-2015)



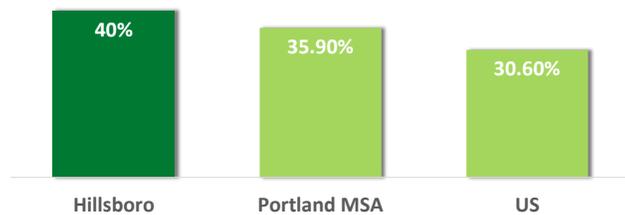
ヒルズボロの主要産業の過去5年の成長率

ソフトウェア&情報サービス	55%
ヘルスケア	53%
管理サービス	45%
専門/技術サービス	35%
製造業	20%
ポートランドメトロエリア平均	14%
全米平均	11%

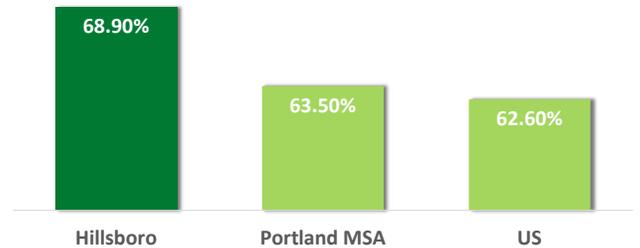
人材

ヒルズボロは、ポートランド地区の1,200万人を超える優秀で多様な人材をターゲットにできる利点を持っています。また、就労率の平均および平均学歴は、ポートランド地区やアメリカ全土と比較して高い傾向にあります。さらに、ヒルズボロの企業は主要な専門家、科学者、および熟練者を惹き付け、このような人材は他の都市よりもヒルズボロ市に多く集まっています。

Percent of Population Over 25 With A Bachelors Degree or Higher (2015)



Labor Force Participation Rate (2015)



経済成長

 インテルのローナーエーカーズ工場は研究および製造のグローバルセンターで、現在、年間約38億リットル（10億ガロン）の水をリサイクルできる工場を建設中です。インテルはこの都市最大の水使用企業であり、過去4年間では年間76億リットル（20億ガロン）以上の水を使用してきました。これはこの市の年間の水全使用量の1/3近くにのぼります。今年度後半に、D1X工場で10ナノメートルのチップの量産が始まると、水使用量はさらに増える予定です。製造プロセスで使用した水を再び製造ラインに戻し、他の用途で再利用することにより、インテルでは1日約95億リットル（25億ガロン）の水を節約できます。

また、インテルが最近発表した8代目のプロセッサのコアラインは、既存のパソコンの性能を40%も向上させることができます。現在使用されている4億5千万台のパソコンは5年以上使用されているとのインテルの試算を考慮すると、新しいチップを使ったパソコンの需要は確かにあります。最新チップを搭載したノートパソコンは、9月に発売されました。

インテルはオレゴン州の最大の雇用主であり、ワシントン郡に19,300人の従業員をかかえるヒルズボロでも圧倒的多数を占めています。

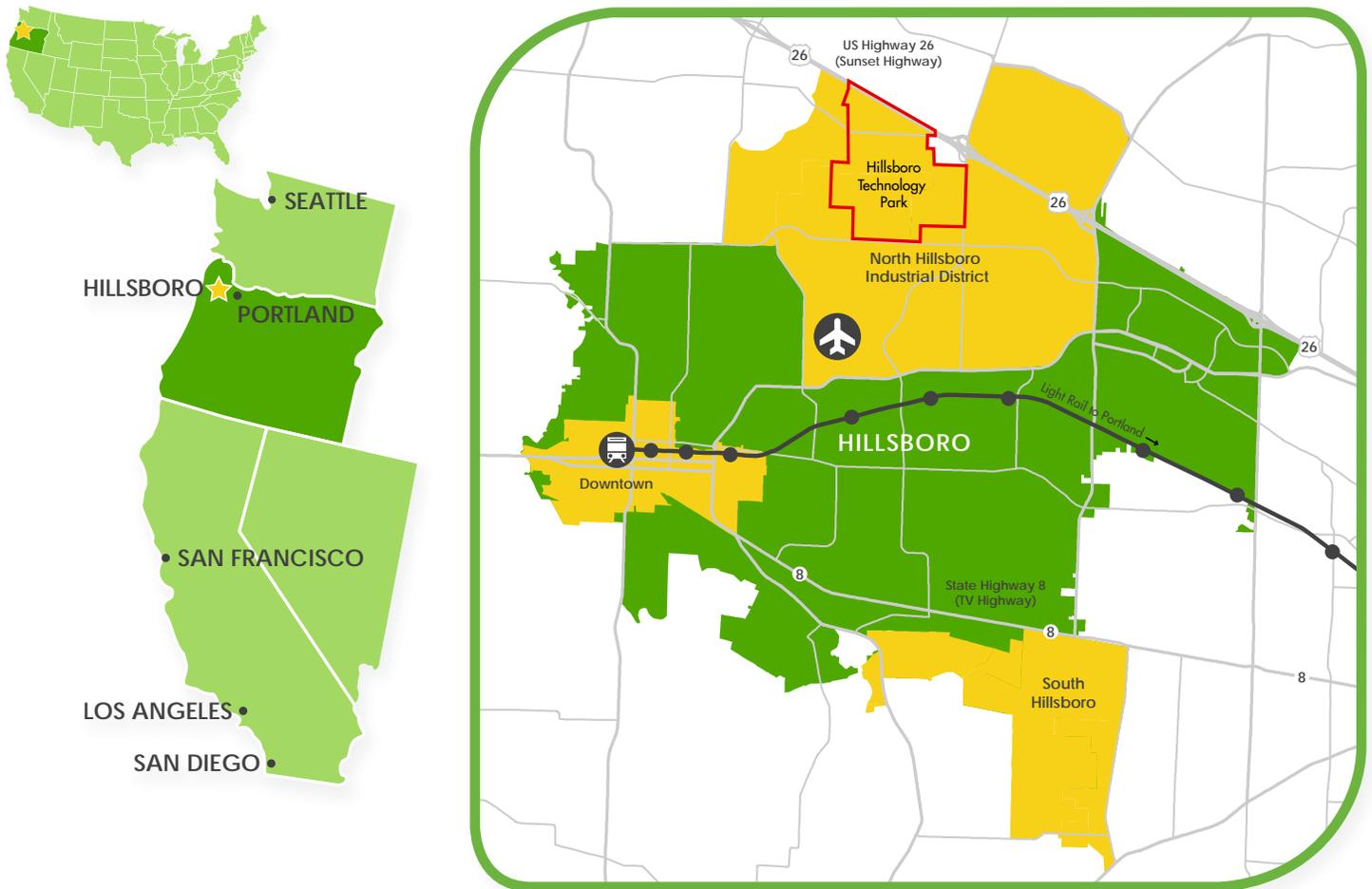
LAIKA

ライカ社はヒルズボロで成長を続ける企業です。Coreline（2009年）、Boxtrolls（2014年）、および最近では賞にノミネートされたKuboおよびTwo Strings（2016年）などのストップモーションフィルムで知られるライカ社は、拡大を続けており、2016年末に9,290m²の建物の拡張を終わらせ、その近くに3,252m²の増築を計画しており、2018年第1四半期に完成予定です。

amazon

アマゾンには、ヒルズボロ北部、ブルックウッドインターチェンジ近くのマジェスティックブルックウッドビジネスパーク内に、28,150m²の流通施設を開設しました。このヒルズボロでの業務は、同社の物流の最下流にあたり、特にアマゾンプライムメンバーへの翌々日配達保証など物流管理作業を行っています。作業者は荷物を郵便番号で分類し、地元の郵便局に発送するパレットに乗せます。これにより、郵便局での分類作業を行わなくて済むようになります。アマゾンはヒルズボロの施設に約900人のパートタイムおよびフルタイムの従業員を抱えています。





主な開発エリア

- ・ 南ヒルズボロ - 2018年ストリートオブドリームズは、南ヒルズボロのリザーブビーンヤードゴルフクラブで開催されます。これは毎年、夏の終わりに4週間かけて行われる豪華な家をめぐるツアーで、最低約800,000ドルから4,000,000ドルの1/4~5エーカーの広さの家をまわるものです。このイベントは今年で40年目で、毎年多くの訪問客に、販売、マーケティング、ブランディングの機会を提供しています。横浜を拠点にするナイスコーポレーションの子会社であるSuteki Americaは、このイベントに2年連続で参加します。オレゴン州ハッピーバレーの2017Suteki ホームは、2020年東京オリンピックのスタジアムの設計者で世界で名の知れた建築家、隈研吾氏が設計しました。氏はヒルズボロの2018Sutekiホームも設計する予定です。
- ・ 北ヒルズボロ - 市はヒルズボロテクノロジーパークの開発を入念に準備しています。このエリアには2,800,000m² (700エーカー) の産業用地が用意されており、ハイテク産業や製造業、企業敷地としての購入を予定しています。2,800,000m² (700エーカー) の約半分は、大規模区画 (202,350m²/50エーカーを超える) 開発地で、個別事業主用途として予定されています。ヒルズボロ市は、企業の開発および起業にかかる時間を大きく減らすことのできるような、インフラへの投資と、天然資源へのダメージの緩和と保護を行い、前進を続けています。
- ・ 67ブロックは、市の中心エリアの中心地の16,188m² (4エーカー) の区画で、最近売却されました。この開発はヒルズボロ中心地区内の活力やアクティビティを強化する、輸送に特化した複合利用プロジェクトを目指しています。市はこの場所を開発し、必要な市場価格の家屋を提供し、ダウンタウンの活気のある複合利用および真のキャラクターに貢献できるパートナーを探しています。

インセンティブ

ヒルズボロエンタープライズゾーンプログラムは、最近オレゴン州から再度、次の10年も連続で行うよう指定されました。このプログラムはヒルズボロ地区の産業区域で適切と認められた企業は、最大5年間、新しい建物や機械、装置に対し、100%の固定資産税減税措置が施されます。プログラム開始後の最初の10年で、1,700人を超える雇用を生み出すのを手助けした最近のプログラムに31企業が参加しました。



WATER LINE CONSTRUCTION

ウィラメット給水設備

ヒルズボロは、チュアラティンバレーウォーターディストリクト（ビーバートン/ビーサニーエリア）とこの地区の第2の給水システム、つまり追加の給水、水量が非常に豊富で供給の弾力性の非常に高いシステムとして提携しています。水源は、ヒルズボロから南へ25マイルほどのところにある、ウィルソンビルに近いウィラメット川です。建設工事は今現在行われており、2026年に完成予定です。新しいシステムは地区の水処理工場の容量として、新しいピーク時容量の60MGDを追加します。これにより、ヒルズボロの処理工場容量は51.75MGDとなります。市は次の50年、またはそれ以上における水の確保を確実にを行うための追加システムへの投資を行っています。



YOUTH ADVISORY COUNCIL

教育

ヒルズボロ市は、以下の項目を市が直接資金提供するプログラムを通じて、オレゴン州の他の市と比較にならないくらい大きく、若者や学区をサポートしています。

- ・ 地域の行政機関でのヒルズボロ高校生300人の職業体験受け入れ
- ・ 就職面接、応募、履歴書作成の指導
- ・ 30人の生徒が地域の問題を話し合う、ヒルズボロユースアドバイザリー委員会（YAC）
- ・ 有給による夏季インターンシッププログラム
- ・ 年次ポートランドコミュニティカレッジ未来コネクタ奨学金プログラム。2013年から合計で250人のヒルズボロの生徒が参加



RON TONKIN FIELD

ヒルズボロ・ホップス

アリゾナ・ダイヤモンドバックスに属するマイナーリーグのヒルズボロ・ホップスはロン・トンキン球場での5シーズン目をちょうど終了したところです。2017年のシーズン中には、セレム市近くのインターステート5号線沿いにあるスタジアムをもつカイザー・ボルケーノーズとの試合が皆既日食の最中に行われました対戦も含んでいました。34州と英国、日本、コロンビアを含む8カ国からのファンがその試合を見に集まり、日食のピークが近づくとつれ、試合は一時中断となりました。試合は、ホップスがボルケーノーズに9対5で勝利しました。



CONTACT:

Jim Riley

Senior Economic Development Manager

James.Riley@Hillsboro-Oregon.gov